

鳥取夏至祭

Tottori Midsummer Improvisation Festival

Project
Document
2017-2023



鳥取夏至祭 Project Document 2017-2023

Tottori Midsummer Improvisation Festival

音、踊り、まちとの出会い



鳥取夏至祭の基本理念

わたしたちは踊りたいから踊り、奏でたいから奏でる。
音楽もダンスも美術も。
今、ここで作り出されるその瞬間を楽しむために
即興に着目し、劇場を抜け出して
街の様々なところではじめてみます。
音楽家もダンサーもアーティストも観客も
通りすがりの町の人と一緒に巻き込み巻き込まれ
そうして新しい何かが生まれます。
かつては音楽もダンスも人生も
切り離すことのできない一つのものでした。
プロもアマチュアもジャンルも垣根を越えて
ただ遊ぶところから。
それが鳥取夏至祭の理念です。

わたしたちは踊りたいから

奏でるから奏でる

鳥取夏至祭とは

鳥取に移り住んだ踊子が2017年にはじめた即興音楽とダンスのお祭り。鳥取市内の空きビル、公園、広場などあらゆるところでパフォーマンスを行い、鳥取のまちの魅力を県外へと発信してきました。これまで参加して下さったアーティストは100名を超えます。

鳥取夏至祭(以下、夏至祭)の特徴を挙げると次の4つです。

1. 鳥取のまちなか(公園、空きビル、公共文化施設など)
2. 即興
3. あらゆるジャンルの人が参加可能、観客も巻き込み巻き込まれる
4. 一期一会のお祭り

この7年間に協力いただいた場所は多岐に渡ります。(p94『鳥取夏至祭開催地マップ』参照)その後、それらの場所を活用して音楽ライブやパフォーマンスを開催するようにもなりました。アンケートにあるように夏至祭を通じた人の交流により派生して起きているイベント^①も多数あります。夏至祭に巻き込まれて育った学生たちは自身でイベントを作るようになっていきました。(p39『枠を越え、新たな選択肢が自分の中に』参照)

初年度に挙げられていた「ダンスの出会い系」というキャッチフレーズは言い得て妙で、実際にアーティスト達はこの7年の間にさまざまな形で結婚、移住、出産など人生の転機を迎えることになり、夏至祭がきっかけとなったものもありました。初年度(2017年)に最年少0歳で出演した凡ちゃんは小学生になりました。(p8写真)アーティストも人間で、7年の時間を経て、変化と交流を続けています。

このドキュメントは100名を超える夏至祭に関わったアーティストたちが鳥取に残した足跡であり、現在地です。

鳥取夏至祭の変遷

鳥取夏至祭はこの7年の間に大きく変化してきました。主謀者としての木野が主に牽引してきた初期、コロナ下で模索しながら、県内アーティストと県外アーティストが協働し始めた中期、そして、経済的に自走できるような持続可能な形を模索した2023年の3期間に分けることができます。

2017－2019年

呼びかけ人(主謀者)木野彩子を中心となって企画・運営のほとんどを手掛けていた時代。

2020－2022年

オンラインでのワークショップを行いながら、参加者全員ができることを模索、新しい表現の形を目指したコロナ時代。

2023年

オンライン実行委員会を中心に小規模化するが、チラシやウェブなどを分業化。アーティストが「ライスワーク」を生かして制作に携わるようになり、持続可能性を目指した時代。

この7年間の間に、ひとりの呼びかけ人が牽引する状況から、次第に実行委員会を構成し、集団で企画運営を行う形へと変化していきました。

この実行委員会形式はコロナ下の舞台芸術の危機的状況において特に力を発揮しました。情勢が読めない中、県内・県外のアーティストが団結し、表現活動を続ける方法を模索しました。週に2度の会議は県内外のアーティスト達の心の支えとなり、首都圏では緊急事態宣言が発出される中、2020年6月にはオンライン・オフライン併用型の鳥取夏至祭を開催しました。当時は配信事業もまだ一般的でなく、専門家がいるわけではありませんでした。手探りで、それでも表現をし続けることを目指しました。このような経験を経てアーティスト達は結束を強め、現在に至っています。(p31『ネットがつなぐ鳥取夏至祭』、p33『鳥取夏至祭2020への道』参照)

夏至祭では照明や映像など一般的な舞台芸術でいうスタッフも、大学生も、同じ参加者(アーティスト)^②であり、チラシやウェブサイトの制作、広報活動なども全てアーティストが担うようになっていきました。自分達で自分達の活動の場を作るための実践であり、学ぶための場でもあり、誰もが参加できる場が作られ続けてきました。

当然のごとく、参加者は毎年変わり、あえて会場も毎年変えていくことで一度として同じことは起きませんでした。常にトライアンドエラーを繰り返し、続けていくことができたのは鳥取の街の寛容さと参加者達の即興力によるものです。

観客も、アーティストも、プロもアマチュアも、ただ「鳥取のまちなかで遊ぶ」。表現以前に人が人として出会うための場所。鳥取で一緒に「遊んだ」アーティスト達は全国各地に散らばり、それぞれの土地で、「開拓」をし続けています。今も、そしてこれからも。ゆるやかにつながりながら。

[1] 例えば宝栄美希(石川)は北陸ダンスフェスティバルをはじめ、その後AIR(アーティストレジデンス)の形態へと変化させていった。イフクキョウコ(山口)、宮原一枝(福岡)は商店街を回るダンスイベントを開催したり、また、宮北裕美(京丹後)の開くワークショップ公演にYasusi(豊岡)が参加、bozzo(豊岡)が写真を撮るなどの近隣県の交流が生まれるようになった。水谷浩章(長野)、三浦あき子(大阪)のように鳥取へ複数回訪れ作品、ライブを作るものもいる。鳥取でもたまがわとしおに影響を受けたゲバラ、櫻井重久らがちんどん屋サークルを始めたり、卒業した学生達が演劇ユニットを作るなどネットワークが生まれつつある。

[2] 出演者だけではなく、スタッフ、裏方も含めての参加者という総称。関わるうちにいつの間にか出演することになってしまったり巻き込まれていく人が多い。

即興とは

improvisation (インプロビゼーション)。

楽譜や振付といった決まり事に頼らず、その場で感じることをもとに作り出していく手法。

音楽、ダンス、演劇、美術それぞれに発展しています。

相手の反応や場所により多様に変化するため、まさしく一期一会。

それぞれの感覚、直感や身体といった個性を生かし、

かつ「今、ここで、出会うための」試みです。

音楽家、ダンサー、アーティスト、観客の皆さんは鳥取の何に出会うのか。

コンテンポラリーダンスにおいては即興が創作の基本となっています。

この小さな出会いが種となり、いつかの作品へと成長していきます。

さ、踊りましょ。奏でましょ。

(2017 年チランより)



普段ファインダーを覗いている時の私は
目の前の出来事を 一歩引いて観ている。
出来るだけ冷静に。客観的に。
どうすれば求められている画を
如何に上手に創れるか。
頭の中をグルグルと。

夏至祭は
踊り手と音楽家と観客を巻き込んだ化学反応で出来ている。
私の想像の及ばない、ドキドキの瞬間の連続。
必要なのは、心を動かされた“今”を切り取る瞬発力。
ただ頭をカラッポにしてシャッターを押す。

そんな風に眺めていた初夏の物語を
そこに流れていた 空気、光、風、音を
私の写真達から感じて頂けますように。

田中良子

鳥取夏至祭オフィシャルフォトグラファー
2017年よりほぼ毎年撮影する

鳥取夏至祭

Tottori Midsummer Improvisation Festival

目次 index

— 記録 history data

66 2017年

71 2018年

76 2019年

81 2020年

82 2021年

85 2022年

90 2023年

93 おととからだであそぼう 開催データ

94 鳥取夏至祭開催地マップ

96 参加者一覧



音、踊り、まちとの出会い

鳥取夏至祭

Tottori Midsummer Improvisation Festival 2017

2017年6月23日[金] - 25日[日]

場所 鳥取市中心市街地各所

旧ヤマネデンキ、わらべ館、旧横田医院、三角公園、袋川土手、風紋広場など

主催：鳥取夏祭実行委員会・キノコノキカク 共催：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、わらべ館
協力：鳥取市中心市街地活性化協議会、新鳥取駅前地区商店街振興組合、HOSPITALE プロジェクト、アフターアワーズ
鳥取夏祭実行委員会（木野彩子） saiko@rs.tottori-u.ac.jp 0857-31-5130(鳥取大学地域学部附属芸術文化センター)

ARTIST

- JOU**
 「わくわく心躍る」ダンスで、人や地域をつなぐ舞踊家、コンテンポラリーダンス作家。武蔵野美術大学非常勤講師。プロからアマチュアまで幅広く、芝居や映画などでの演出陣も行う。舞踊人生の達人。FB odoruju
- ryotaro**
 エレクトロニクスを融合したアコーディオン弾き、ダンサー、パフォーマンスとの共演を展開。ヨーロッパを中心に海外でのライブ活動も精力的に行う。2009年から京都木屋町UxBANGUILDのブックニング担当。早稲の三条大橋と書をこよなく愛する。
- 仙石彬人**
 「時空に絵を描く」をテーマに、OHPを用いたヴィジュアルによるライブパフォーマンス「TIME PAINTING」を行う。LIVEという表現方法にこだわり、あらゆるジャンルのアーティストとのコラボレーションを活動の場としている。http://rekitzangoku.blogspot.jp/
- 荻野ちよ**
 専任在任。2014年地域おこし協力隊として京都から移住。コンテンポラリーダンスとして国内外で活動を展開してきた経験を生かし、完全アウェイの異国において「八咫土俵会館」をオープン。運後の震災により建築物の解体が決定。新たな拠点を探しつつ、町づくりに取り組む。
- 辻たくや**
 大学卒業後、演劇活動を始め、俳優大森博史の作品を中心に出演。2011年より友人舞踏家の勧めで、舞踏に出会い舞踏家大森政夫(天路星堂主宰)に師事。以後天路星堂作品に出演。
- 中沢レイ**
 那高コレクティブ・オービタルリンク主催。幼少よりバレエ、モダンダンスを始め、その後、舞踏、演劇、カポエイラ等を経て独自の世界を作る。中部地方にパフォーマンス・舞山やスプーニングという国際的なプロジェクトを自力で立ち上げ、ヨシコ・チュウマ、メグ・ステュアートらと共演。
- 吉福敦子**
 東京生まれ。東京育ち。モダンダンス、クラシックバレエ、ボディワークを学ぶ。動きの必要性にこだわりつつ、観客の創造力に働きかける「観物を扱うように行動を誘うダンス」を信条に活動中。http://www.studiodoo.net/
- 永井美里**
 神奈川県出身。6歳よりバレエを始め、2003年に英国ミドルセックス大学ダンス学部に入学し、コンテンポラリーダンスを学ぶ。帰国後はAAPAでダンサーとして活動し、講師としても子どもから大人まで幅広くダンスを教えている。http://minorleaps.jp/
- 田中悦子**
 鳥取大学ダンス部を経てダンスコンク(鳥取モダンダンス愛好会)で踊り続け、2012年鳥取でインクルーシブダンスを学び移住を、2014年英国でダンスのディプロマを取得。アヴィニオン芸術祭等にも参加。
- 佐成哲夫**
 劇場に限らず様々な「場」での即興的なソロパフォーマンスを中心に、他分野のアーティストやダンサーとの交流による作品の創作、演劇作品の演出、PV出演など活動。SPAC演出コンクール2001最優秀賞受賞。
- 中村理**
 20歳で身体表現と出会い、これまでに多数のソロ作品のほか、様々な演出家の作品に出演。族群の表情力を武器に確かな身体について探求中。寂寥と滑稽さが伝わる。わからないものに出会いたい。
- 三島麻美**
 鳥取県松江市出身。鳥取大学教育地域科学部芸術文化コース舞踊専攻卒業。同大学地域文化分野修了。ジャズ、コンテンポラリー、ストリートなどジャンルを問わず何でも踊りたい、踊って人とつながりたい会社員ダンサー。
- 金井隆之**
 音楽家(ギター/声楽)、合唱や音楽アンサンブルへの出演やソロ制作のほか、映像・ダンス・美術との横断的な創作活動を展開。千代田県横須賀市芸術祭(ゆるアコ)、kanaitakayuki.com
- 山下 靖史**
 一般社団法人 CROSS 理事長ダンサー・ダンスインストラクター・介護福祉士。一昨年、兵庫県岡崎市にて一般社団法人CROSSを設立。ダンス教室の運営、障害者施設でのワークショップ、出演ダンス教室の実施、地元産物のイベント出演・販売協力を中心とした活動としている。
- 石和田尚子**
 日本大学芸術学部卒業。演出作品がダンスが見たい！新人シリーズ5で観賞賞受賞。日本舞踊のダンス、とまか計画、DANCE NEST などにダンサーとして参加。大学生への作品提供や子供向けイベントの演出など、幅広く活動している。
- 上地正彦**
 キーボード、バスドラム、クラシックギター、作曲家。幼少よりクラシックピアノを学び、その後東京を中心にジャズやロックバンドでのキーボード演奏を経て、現在はヨーロッパで即興演奏と自身のバンド「DAREDA」を中心に演奏活動中。
- 金子泰子**
 トロンボーン奏者、作曲家。岡山県の公立館にて毎月「インプロビゼーション」の会と称して様々な表現方法で参加できる即興表現のjamセッションを主催。不定期でワークショップ、発表会を企画している。
- イフクキョウコ**
 ダンサー。幼少より日本各地を占領し、2012年より山口在住。スタジオイマイチメンバー。2014年福岡でコンテンポラリーダンスに出会い踊り始める。
- 大島理智**
 映像エンジニア、メディアアクト、ボディワーク。1977年生まれ。YCAM InterLab所属。近年ダンスユニット「ちくば」編成。独学で身体表現に取り組みインスタレーションやパフォーマンス作品を多数発表。
- 上本 電平**
 2004年にAAPAを立ち上げ、日常と地域との舞台を企画。大野一輝フェス、踊りに行くぜ!!日などでダンス作品を制作後、2013年に東京の北千住でスタジオを開きダンスの創作を続けている。http://sapa.jp
- 室栄美希**
 ダンサー・演出家。横浜ダンスコレクションをはじめ、国内外のコンペティションにて受賞。また様々なフェスティバルに招聘される。石川県出身。学生時代を東京で過ごし留学。帰国後2016年に石川に拠点を移し、地方におけるダンスの役割について調査しながら活動中。
- 市川まや**
 幼少よりクラシックバレエを始め、その後コンテンポラリーダンスに傾倒。劇団鳳新派で女優を経験した後、小学生から70代のダンサーが在籍するKyoto Dance Exchangeに参加、現在代表を務める。
- 豊永淳子**
 1989年神戸生まれ。これまでに平山香子、轟美穂、キミホ・ハルパートなど様々な演出家の作品に出演。2011年よりソロ活動及び、Dance company Nomade'sの作品や福島県復興事業プロジェクトに参加。2015年からはSESSION HOUSEにてマドモアゼルシネマに参加。
- 高橋智美**
 福岡県出身。鳥取市在住。舞踏・演劇とおもちゃのミュージアム「わらべ館」勤務。家庭用のござり、片手笛、烏笛、おもちゃの楽器等20種類以上の楽器を使った演奏を、幼稚園、子育てサークル等で行っている。
- やぶくみこ**
 岸和田生まれ。京都在住。音楽家。アラブの太鼓ダブバカやジャワガムランなどを演奏。演劇やダンスとのコラボレーションや環境と対話する即興音楽を中心に活動中。淡路島にて互の音楽プロジェクト進行中。即興ガムラングループスカム・ダブバカ主宰。http://mukubynooto.jimdo.com/
- 木野彩子**
 鳥取夏祭実行委員。札幌車庫バリエーションに所属。踊る踊って踊り立つ鳥取。最近では見るのももあまり増えなくなりました。https://saikokino.jimdo.com
- 古川彩香**
 英国のTrinity Laban Conservatoire of Music & Danceのコミュニティダンス学修士。Edge Hill Universityのダンス・ムーブメント・サイコロジの修士取得。コンタクトインプロビゼーションや、Body Mind Centeringを学び、心身統合としてのダンス、ボディワークを研究する。
- 宮北裕美**
 各地でサイト・スペシフィック・パフォーマンスを展開するほか、近年はダンサーとして培ってきた固有の時間感覚や空間感覚を美術表現へと持ち込みインスタレーションの発表をしている。ART CAMP TANGO 2017ではパフォーマンスプログラムのディレクションを行う。http://miyakitahrom.com
- 清水彩加**
 演出家、ダンサー。20歳大学無償芸術専攻でコンテンポラリーダンスと出会い磯井節子、森井洋、矢内原美洋の下で学ぶ。ヤザキケシダンスラボLulu 2期生として一年間活動。自身の死生観を軸とした作品を制作。失うことで生まれるものに焦点を当て、身体から聞こえる音を可視化させる演出を目指す。
- tomo.**
 マリンバを使って、クラシック音楽を基本とし、エレクトロニクスを取り入れた新感覚のジャンル。ポストクラシカルミュージックスタイルで楽曲制作、パフォーマンス活動をしている。また、プリペイドマリンバなど新しいサウンドの発見を促している。
- ダミアン・ジロー**
 カン美術学校を卒業後、2001年にマルセイユに移住しドラム活動を開始。ロックを中心にジャズ、ガムランオーケストラ、また即興音楽家との共演など演奏スタイルの幅は広い。現在DAREDAにて活動中。

詳しくはこちら <https://tottori-gehisai.jimdo.com>

鳥取夏至祭 2017

2017年6月23日(金) — 25日(日)
鳥取市中心市街地

前夜祭 6月23日(金) 19:00～

旧ヤマネデンキ / オービタルリンク形式による即興セッション

ツアーパフォーマンス (周遊型公演) 6月24日(土) 16:00～

案内役 / 木野彩子
旧ヤマネデンキ / 仙石彬人、豊永洵子、市川まや、荻野ちよ、宮北裕美
けやき広場 / 金井隆之、金子泰子、山下靖史、古川彩香、田中悦子、イフクキョウコ、大脇理智
風紋広場 / 金井隆之、金子泰子、山下靖史、田中悦子、上本竜平、辻たくや、三島麻美、吉福敦子
アフターアワーズ (日の丸温泉) / Damien Girot、JOU、大脇凡、菊池ひみ子 (Special Guest)
パレットとっとり / 中村理、佐成哲夫、中沢レイ
パレットととりの隣の空きビル (2階) / 石和田尚子、宝栄美希、上地正彦
袋川土手 / 中沢レイ、宮北裕美、清水彩加、永井美里、吉福敦子、山下靖史、やぶくみこ、金井隆之、中村理、佐成哲夫
太平公園 (三角公園) / 豊永洵子、上本竜平、辻たくや、石和田尚子、清水彩加、市川まや、宝栄美希、三島麻美、イフクキョウコ、金子泰子
旧横田医院 / 全員

即興パフォーマンス 6月25日(日) 10:00～

いなばのお袋市 (鳥取駅前サンロード) / 全員

ワークショップ 6月25日(日) 13:30～14:30

わらべ館いべんとほーる

■関連イベント

鳥取シャブール芸術祭 6月17日

ストロベリーフィールズ (鳥取) / Ryotaro ほか

『ダンスと暮らし』 6月17、18日

スタジオイマイチ (山口) / 大脇理智、イフクキョウコ、木野彩子 (ゲスト参加) ほか

Dareda Japan tour ライブ『Day Dreamer』

6月25日 ストロベリーフィールズ (鳥取) / Dareda (上地正彦、Damien Girot)
大阪、愛知、名古屋、京都、東京

主催 / 鳥取夏至祭実行委員会、キノコノキカク
共催 / 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、わらべ館
協力 / 鳥取市中心市街地活性化協議会、新鳥取駅前地区商店街振興組合、鳥取市公園スポーツ施設協会、本通り商店街、HOSPITALE プロジェクト (旧横田医院、ことめや)、アフターアワーズ、(株)ヤマネ機材、鳥取藝住、totto、鳥取大学学生 (地域学部附属芸術文化コース及び教養科目「芸術入門」受講生)、鳥取市内の皆様
企画構成 / 鳥取夏至祭実行委員会
宣伝美術、チラシデザイン / 三宅航太郎 (うかぶ LLC)
宣伝写真 / 田中良子
映像 / 佐々木友輔 (鳥取大学地域学部附属芸術文化センター)
写真 / 田中良子

音、踊り、まちとの出会い

2018

鳥取夏至祭

Tottori Midsummer Improvisation Festival

2018年6月22日[金] — 24日[日]

場所 鳥取市中心市街地ほか

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、旧横田医院、とりぎん文化会館、鳥取駅前サンロード、風紋広場、真教寺公園、ギャラリー鳥たちのいえ、わらべ館 他

主催：鳥取夏至祭実行委員会・キノコノキカク 共催：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、わらべ館
協力：新鳥取駅前地区商店街振興組合、春福町通商店街、HOSPITALE プロジェクト
協賛：鳥取市中心市街地活性化協議会、文化庁大学における文化芸術推進事業(わらべ館ワークショップ委託) ほか
鳥取夏至祭実行委員会(木野彩子) saika@tottori-u.ac.jp 0857-31-5130/鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

鳥取のまちなかで音楽とダンスに出会う3日間。

わたしたちは踊りたいから踊り、奏でたいから奏でる。音楽もダンスも美術も。今、今、ここで作り出されるその瞬間を楽しむために、即興に着目したお祭りを作りました。昨年私たちはどんな表現も受け入れてくれる鳥取のおおらかさと優しさに出会いました。劇場を抜け出して街の様々なところではじめてみます。もしかしたら通りがかりに出会うかも。一緒に巻き込まれてみてください。プロもアマチュアも垣根を越えて、ただ遊ぶところから全ては生まれるのだと思います。

SHOWING

6月22日[金]

A 前夜祭：くじ引きによる即興ダンスと音楽のセッション

開演 18:30 (開場 18:15) 定員 40名

会場 鳥取大学地域学部附属芸術文化センターアートプラザ他 (湖山町南4丁目101)

料金 1,000円 (プチパトロンシステム1pt付) / 鳥取大学学生料金 500円 (プチパトロンシステム1pt付)

- ①くじ引きにより3人組を作る ②各自が2分ずつ即興を行う(ダンサーは音楽家を指名したり、CDなど用いても良い)
- ③その3人でセッションを行う(4分) その日その場で出会った組み合わせで多様な表現が生まれるのが即興のおもしろいところ。全員が一同に集って"はじめまして"からスタートします。どんな人たちのかまはずは見極めを。

6月23日[土] 料金 一日券(B C 共通)チケット2,000円 / B or C のみ1,500円
(プチパトロンシステム2pt付) (プチパトロンシステム2pt付)

B ツアーパフォーマンス(周遊型公演)

開演 15:00 (開場 14:50) 定員 40名

集合場所 とりぎん文化会館中庭(鳥取市本町1丁目) (雨天時はフリースペース)

各パフォーマンスは鳥取市内中心市街地の様々なところでパフォーマンスを作ります。何が起るかはその場での楽しみ。観客は出発地点で地図をもらい、ガイドとともに見て回ります。途中脱線、合流あり。鳥取の魅力と一緒に探してみましよう。終演後各アーティストと対話をしながら、パフォーマンスで気になったことをシェアしてみてください。

C Hospitale Night

開演 19:30 (開場 19:20) 定員 40名

集合場所 旧横田医院 (鳥取市栄町403)

小さな部屋が沢山ある旧横田医院の空間を利用して、様々な音楽とダンスが同時多発的に展開していくスペシャルナイト。不思議空間に迷い込んでみましょう。

※プチパトロンシステム

参加料金が2ポイントの投票ポイントが与えられます。好きなダンサーや音楽家に投票できます。1ポイントは500円分となりますので、気に入ったダンサー、音楽家へのチップとなります。



6月24日[日]

D いなばのお袋市

出現 10:00頃 参加費 無料

会場 いなばのお袋市(駅前サンロード内)

各パフォーマンスが、毎月第4日曜日に行なわれている鳥取駅前サンロードで開かれている朝市「いなばのお袋市」に出現します!

特別ゲスト：鳥取のインクルーシブダンスグループ 星のいり口
イギリスの振付家Alina Vahlaが振り付けるサイトスペシフィック作品を上演。



星のいり口
年齢、性別、そして障害も様々なメンバーで構成される、ダンスの大好きなグループ。2007年に活動開始。
Alina Vahla
振付家、サイトスペシフィックダンス振付家&演出家、学際的アーティスト、教師、ギリシア出身。英国ラバンセンターでダンスを学び、ミドルセックス大学で学際的総合アートの修士号取得。

所属：グレートブリテン・マカフ財団、お袋市、お袋市アートフェスティバル、お袋市アートフェスティバル実行委員会 協力：ミュージアム・カンパニー

WORKSHOP

6月24日[日]

E 即興音楽とダンスのワークショップ 開始 13:30 終了 14:30

参加費 無料 (要申込) 定員 50名 会場 わらべ館いべんとほーる (鳥取市西町3丁目202)

大人も子供も一緒になって音楽、ダンスをその場で繰り広げます。音を奏でる、音に反応してみる。思いっきりからだを使ってみよう。※文化庁大学における文化芸術推進事業/2ヶ月に1度開催。

申し込みはわらべ館へ TEL:0877-33-7070 対象年齢：15歳以上(小学生は参加できません)

MAP

- A** 鳥取大学地域学部附属芸術文化センターアートプラザ他(駐車場あり)
鳥取市湖山町南4丁目101
- B** とりぎん文化会館(駐車場あり)
鳥取市尚徳町101-5
- C** 旧横田医院 (近隣駐車場をご利用ください)
鳥取市栄町403
- D** いなばのお袋市(駅前サンロード内)
鳥取市栄町 (近隣駐車場をご利用ください)
- E** わらべ館いべんとほーる(駐車場あり)
鳥取市西町3丁目202

即興とは *Whit's Improvisation*

Improvisation(インプロビゼーション)。楽譜や振付といった決まり事に頼らず、その場で感じることをもとに作り出していく手法。音楽、ダンス、演劇、美術それぞれに発展しています。相手の反応や場所により多様に変化するため、まさしく一期一会。それぞれの感覚、直感や身体といった個性を生かし、かつ「今、ここで、出会うための」試みです。音楽家、ダンサー、アーティスト、観客の皆さんは鳥取の何に出会うのか。コンテンポラリーダンスにおいては即興が創作の基本となっています。この小さな出会いが種となり、いつかの作品へと成長していきます。さ、踊りましょ、奏でましょ。

／以降は、参加者名など

ARTIST

- やぶくみこ**
音楽家/作曲家。和歌山生まれ、京都在住。ジャズガムランや様々な楽器を用いて、楽器の本来的な響きや音色、演奏する空間を生かした作品を提示。「待つ、ひらく、尊重する」をヒントに新たな作曲の可能性を模索するワークショップを各地で開催。
- イフクキョウコ**
ダンサー。幼少より日本各地を点在し、2005年福岡でコンテンポラリーダンスに出会い踊り始める。2012年より山口在住。スタジオイマイチメンバー。
- 大脇理智**
映像エンジニア、メディアアクトル、ボディワーク。1977年生まれ、YCAM InterLab 所属。05年ダンスユニット「ちくは」結成(現在休止中)。後学で身体表現に取り組みインスタレーションやパフォーマンス作品を多数発表。
- 白神ももこ**
演出家/演出家/ダンサー/パフォーマンスのグループ「モモンガ・コンプレックス」主宰。無意味・無駄を積極的に取り入れユニークな空間を醸し出す作品には定評がある。
- 伊東歌織**
アマキオト主宰/東京デスロック所属。「身体は所詮、お供え物？」をコンセプトに、空間から身体/テーマを紡いでゆく演出方法を模索している。2017年11月より兵庫県神戸市に拠点を移し、健康福祉や有機農業など、新たな価値観に触れながら日々を過ごす。https://amakiotowebby.com/
- 田中悦子**
鳥取生まれ鳥取育ち。幼少時はダンスやお祭り音頭で踊りと親しみ、大学でモダンダンスと出会う。卒業後は鳥取市拠点のダンスコングに所属して踊り続け、留学してダンスのディプロマを取ったり、種がいろいろある人と踊ったり。
- 石和田尚子**
日本大学芸術学部卒業。ダンスが見たい！新人シリーズ観客賞受賞。近藤良平、早瀬真太郎などの作品に出演。現在はインテグレイテッドダンスカンパニー一員に所属。イメージと現実の狭間にある体を紡ぎ、各地を彷徨う。
- 荻野ちよ(荻野裕子)**
〜14年ダンサー/演出家として京都を拠点に国内外で活動。昨年9月に茅渚町地域おこし協力隊を卒業し、現在は鳥取中西部のジビエ推進協議会コーディネーター。環境・社会・食育・地域活性化など、まるっと取り進む。
- 吉福敦子**
東京生まれ、東京育ち。モダンダンス、クラシックバレエ、ボディワークを学ぶ。動きの必然にこだわりつつ、観客の創造力に働きかける「書物を読むように行動を積み重ねるダンス」を信条に活動中。http://www.studiogoo.net/
- 武田力**
演出家、長崎芸術アカイバー。アジアの民俗芸能に着想を得て「糸電話」「警察の脱獄」「たこ焼き」など演劇らしからぬ題材を用いる。そこに社会の暗黒を探り、観客と思考する作品を制作している。
- 辻たくや**
大学卒業後、演劇活動を始め、俳優大森博史の作品を中心に出演。2011年より友人舞踏家の勧めで、舞踏に出会い舞踏家大森政秀(天路堂主宰)に師事。以後天路堂作品に出演。
- 山下靖史**
ダンススタイル: ブレイクダンス、ハウスダンス。近年は、演奏者、コンテンポラリーダンスとのセッションなどジャンルに囚われないダンス活動を行っている。
- 後藤理絵**
詩人、書家、劇作家として活動。舞台や映画の俳優、作詞(合唱曲含む)も手がける。東京にてライブイベントに出演、企画も主催。
- 荒井康太(ds)**
伝統太鼓のルーツを元に、アフリカやアジアの民族音楽の豊かなエネルギーを取り入れた特異な感性とリズム、自然体なグループで、民族の神を踏んで太鼓の魅力を表現している。
- 米子匡司**
音楽家。トロンボーン/ピアノ奏者。プログラマ、音とそれに関わる現象を扱った自作楽器での演奏、音源の制作、展示などを行う。屋外でのライブイベント(PARADE)を毎月開催中。SJCおよびOSJC++メンバー。

- 高橋麻理絵**
1985年札幌市生まれ。日本、ハンガリー、フランスでのオーケストラの経験後、現在室内音楽家・新興演奏家としてドイツ、ベルリンに拠点を置く。バロック楽器による古楽演奏から現代曲の初演、ビデオ芸術家やダンサーとの共同制作など、幅広く活動している。
- 水谷浩章**
ベース奏者。主にジャズやインプロヴィゼーションのフィールドを中心に生息しつつ、演奏、作曲、アレンジ、プロデュース等、あらゆる音楽に取り組み。この数年は、専ら楽器・機材一式積み込み「ひとり旅」にチャレンジ中。
- 高橋智美**
福岡県出身、鳥取市在住。童謡・唱歌とおもちゃのミュージアム「わらべ館」勤務。ミュージカルソフ、片手笛、烏笛、おもちゃの楽器等20種類以上の楽器を使った演奏を、幼稚園、子育てサークル等で行っている。
- 川上悦月**
幼少よりクラシックバレエを習い、お茶の水女子大学言語教育専攻で様々なダンステクニックと創作法を学ぶ。ラゴ29や横浜ダンスコレクショナル、ダンスが見たい！新人シリーズなどに出演。譲らない時間を経て、2012年より本名ではなく「悦月」の名前で活動を再開。大学でダンスや身体表現の指導法を教える授業を担当する。
- 横手ありさ**
呼吸と声から派生するあらゆる響きで色彩を奏鳴し叫ぶ。森羅万象に取り込まれたモチーフ、記憶、揺めぎ、リズムに響きあわせた声の響きで紡ぐ物語は、柔らかに自由に、伸びやかに、ひそやかに、境界を越えている。https://iris-utsubu.jimdo.com/
- Kamil Korolczuk(ポーランド)**
新興演奏家。特技はシステムと境界線の間の行き来。カセットテープ、モジュラー・シンセ、フィールド・レコーディングやフィードバックを用い、ノイズ機からサウンド・コラージュまで多様なプロジェクトに参加する。OSORRecords、TMRW>>TPS レーベルの創業者。
- 小山まさし**
1983年生まれ。千葉県出身。22歳でダンスと出会う。アメリカの大学でビジネスを学ぶも退学し帰国。会社員を経て、25歳でダンサーに転向。様々な作家の作品に携わる傍ら、[小山島劇]として作家活動も行う。
- 村瀬謙介**
大阪でDJを始め、活動拠点を鳥取へ移す。2006年にマシスリーイベント「ROCK CRIME」を立ち上げる(2018年より休止)。その後はそれまで録りためていたサウンドスケープ素材をノイズなどの電子音と融合して遊んでいる。
- 横山祐太**
トランペット奏者。札幌を活動の拠点とし国内外、アジア、ヨーロッパ、アメリカにて多くのミュージシャンやダンサーとインプロビゼーションを軸に共演を重ねる。
- 松尾邦彦**
パフォーマンス・演出家・映像作家・音楽家として、国内外のカンパニー・演出家との共同作品を多く手がける。近年は東京インドにおいて国際アートフェスティバル「オディシャ・ビエンナーレ」の企画・運営にも携わる。http://www.cmp-processa.com
- きのざいこ**
夏至祭主催者。札幌東区バリロンドンに生まれる。帰国するたびに帰って踊り立つ鳥取。最近は何も生きているのもあまり境目がなくなってきました。鳥取大学地域学部附属芸術文化センター所属の陣子。https://tsukikino.jimdo.com
- 菊池 航**
1987年生。近畿大学でダンスを始める。2008年よりダンスカンパニー「流氷」を主宰。旅行演出を開始。「意味は無いが無駄が無い」作品で、様々な上演空間を開拓しつつ主催公演を重ねる。その場において、ただ立つことから踊りになる過程を突撃し、動きとして納得出来るダンスを目指す。http://kan-hsi.blogspot.jp
- 金井隆之**
声楽、ギター、マンドリン、パーカッション、作曲など幅広く活動。バレード演奏やダンサーとの共演も多い。モーツァルト・アカデミー・東京。Incontro、ゆるアコ、各メンバー。kanitakayuki.com

詳しくはコチラ <https://tottori-gehisai.jimdo.com>

鳥取夏至祭 2018

2018年6月22日(金) - 24日(日)
鳥取市中心市街地

前夜祭 6月22日(金) 18:30 -

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター アートプラザ、アゴラ他 / オービタルリンク形式による即興セッション

ツアーパフォーマンス (周遊型公演) 6月23日(土) 15:00 -

案内役 / 木野彩子
とりぎん文化会館中庭・フリースペース / 山下靖史、小山まさし、大脇理智、金井隆之
ギャラリー鳥たちの家 1F / 横山祐太、辻たくや、村瀬謙介、水谷浩章、伊藤聡美、山田泰裕、イフクキョウコ
ギャラリー鳥たちの家 2F / 高橋麻理絵、吉福敦子、松尾邦彦、横手ありさ、後藤理恵、伊東歌織
ギャラリー鳥たちの家 3F / 菊池航、やぶくみこ、白神ももこ、荒井康太、高橋礼奈、田中悦子、米子匡司
Tottori カルマ / 白神ももこ、吉福敦子、石和田尚子、水谷浩章、横手ありさ
真教寺公園 / 伊藤聡美、金井隆之、小山まさし、山下靖史、大脇理智、中村友紀、菊池航、辻たくや
鳥取ペインクニック / 武田力
五臓固ビル / 横山祐太、石和田尚子、後藤理恵、伊東歌織
わらべ夢ひろば / やぶくみこ、荒井康太、横手ありさ、水谷浩章、米子匡司
鳥取県立博物館大階段(入口ロビー) / 全員

Hospitale Night 6月23日(土) 19:30 -

ツアーガイド / 白神ももこ、木野彩子
旧横田医院 1F / 横山祐太、荒井康太、金井隆之、イフクキョウコ、菊池航
旧横田医院 2F / 高橋麻理絵、横手ありさ、後藤理恵、やぶくみこ、吉福敦子、山下靖史、石和田尚子、高橋礼奈、武田力、辻たくや
旧横田医院 3F / 水谷浩章、村瀬謙介、米子匡司、伊藤聡美、小山まさし、伊東歌織、松尾邦彦、菊池航
照明 / 門脇瑞葉、田中哲哉

いなばのお袋市 6月24日(日) 10:00 -

(お袋市を周遊後、風紋広場に移動してAtienaさんの作品の上演、その後、全員でインプロジャム)
鳥取駅前サンロード / こどもラジオ(ミニコミFM) 濱井丈栄(特別協力)
風紋広場 / Atiena Vahla、星のいり口(特別ゲスト)

即興音楽とダンスのワークショップ 6月24日(日) 13:30 - 14:30

わらべ館いべんとぼーる

■プレイベント

即興ダンスと音楽のワークショップ

5月27日 わらべ館 / 池田千夏(ゲスト)

池田千夏ピアノライブ“フォーキーな旋律”

5月27日 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター アートプラザ

■関連イベント

Yasusiによる即興セッション

6月9日 豊岡画廊(豊岡市)

水谷浩章ライブツアー

6月25、26、28日 山陰各地(出雲、松江、米子)

主催 / 鳥取夏至祭実行委員会、キノコノキカク
共催 / 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、わらべ館
協力 / 鳥取市中心市街地活性化協議会、新鳥取駅前地区商店街振興組合、鳥取市公園スポーツ施設協会、若桜街道商店街、HOSPITALE プロジェクト(旧横田医院、ことめや)、鳥取藝文、totto、鳥取大学学生、鳥取市内の皆様
助成 / 鳥取市中心市街地活性化協議会、文化庁大学における文化芸術推進事業(わらべ館ワークショップ部分)
企画構成 / 鳥取夏至祭実行委員会
学生スタッフ / 高橋礼奈、門脇瑞葉、山田泰裕、伊藤聡美、おおくばあい、佐伯恵里、中村友紀、藤森このみ、吉野紗恵、田中哲哉、岡田悠冬
宣伝美術、チラシ・ポスターデザイン / 三宅航太郎(うかぶLLC)
宣伝写真 / 田中良子
映像 / 佐々木友輔、村上大樹(鳥取大学地域学部佐々木研究室)
写真 / 田中良子



鳥取夏至祭 2019

2019年6月21日(金) — 23日(日)

鳥取市中心市街地

前夜祭 6月21日(金) 18:30～

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター アートプラザ / オービタルリンク形式による即興セッション
照明 / 学生スタッフ

ツアーパフォーマンス（周遊型公演） 6月22日(土) 15:00～

標谿公園・鳥取東照宮
案内人 / きのさいこ、小池芽英子
川そばのステージ / イフクキョウコ、Yasusi、山本和馬、田中悦子、金子泰子
石だたみ / 大脇理智、いはらみく
東照宮門前 / 李東熙、吉福敦子、鈴木英理子、田中悦子、中村友紀、瀬尾亮
うらの階段 / 古川友紀、宮原一枝、小谷雄司

標谿グラウンドアパート
①おむかえ / 金子泰子、鈴木英理子、瀬尾亮、中村友紀
②入口 / Ivan Timbrell、たけうちみずゑ
③ダンスホール / Yasusi、李東熙、大脇理智
④ゲストルーム / Miya、吉福敦子
⑤ベランダ / 田中悦子
⑥和室大 / イフクキョウコ・大脇凡
⑦和室小 / 村瀬謙介、小池芽英子
⑧洋室1 / 古川友紀、いはらみく
⑨洋室2 / 宮原一枝、小谷雄司
⑩パソコンの部屋 / 金井隆之、山本和馬
⑪さまよう人 櫻井拓見、きのさいこ

プチワークショップ企画「即興のコンダクション」

6月22日(土) 19:00～
HOSPITALE (旧横田医院)
ファッション / Miya

即興音楽とダンスのワークショップ

6月23日(日) 13:30～14:30
わらべ館いべんとほーる

■関連イベント

即興音楽とダンスのワークショップ

5月25日 わらべ館いべんとほーる / Yasusi (ゲスト)
7月6日 わらべ館いべんとほーる / 池田千夏 (ゲスト)

主催 / 鳥取夏至祭実行委員会、キノコノキカク
共催 / 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、わらべ館
協力 / 鳥取市中心市街地活性化協議会、新鳥取駅前地区商店街振興組合、鳥取市公園スポーツ施設協会、
HOSPITALE プロジェクト (旧横田医院、ことめや)、totto、スタジオイマイチ (山口)、鳥取大学学生、鳥取市内の皆様
助成 / 令和元年度文化庁大学における文化芸術推進事業 (わらべ館ワークショップ部分)
企画構成 / 鳥取夏至祭実行委員会
学生スタッフ / 大久保藍、佐伯恵里、田中哲哉、中村友紀、藤森このみ、吉野紗恵、阿野ふみか、渡辺乃愛、東緋乃、北川千春、島野成瑠、
田中万智、寺島夏鈴、Li Lin Xuan
宣伝美術、チラシ・ポスターデザイン / 三宅航太郎 (うかぶ LLC)、加藤咲 (うかぶ LLC)
宣伝写真 / 田中良子
映像 / 鳥取大学映画研究会
写真 / 田中良子

／以降は、参加者名など

鳥取夏至祭 2020

2020年6月21日(日)

わらべ館

おととからだであそぼう 6月21日(日) 13:30～14:30

わらべ夢ひろば及びエントランスホール

わらべ館セッション 6月21日(日) 15:30～17:00

オフライン / きのさいこ、村瀬謙介、荻野ちよ、高橋智美、森本みち子、中村友紀、田中悦子、Ivan Timbrell、渋谷千里、里田晴穂、田中哲哉
オンライン / 堀内まゆみ、イフクキョウコ、大脇理智、鈴木英理子、吉福敦子、石和田尚子、亀川朗、Yasusi、小池芽英子 (ヒジカタハルミ)、
新庄恵依、櫻井拓見、笠原麻美、宝栄美希、宮原一枝、ゆーり、山本泰輔、上本竜平

わらべ館ツアー 6月21日(土)

YouTube で配信
ガイド / 長嶺泉子 (わらべ館)
音楽 / 村瀬謙介
スタッフ / 里田晴穂、きのさいこ、高橋智美、田中哲哉
うたの小道 / 渋谷千里
かやぶき民家 / 荻野ちよ、中村友紀
木造教室 / Ivan Timbrell、森本みち子、田中悦子、渋谷千里、こどもたち
あそぼう広場 / 田中悦子、森本みち子
3階 / 荻野ちよ、森本みち子、Ivan Timbrell、こどもたち

市内某所におけるセッション 6月21日(日) 19:00～20:30

鳥取市内某所 / オービタルリンク形式による即興セッション (非公開)

鳥取夏至祭への道 2020「コロナ下での表現ワークショップ」にご参加くださった皆様
山本泰輔 (ダンス / 福岡)、宮原一枝 (ダンス / 福岡)、大脇理智 (ダンス / 山口)、イフクキョウコ (ダンス / 山口)、新庄恵依 (ダンス / 広島)、堀内まゆみ (ダンス / 札幌)、上本竜平 (ダンス / 千葉)、笠原麻美 (ダンス、演劇 / 東京、静岡)、小池芽英子 (パフォーマンス / 京都)、鈴木英理子 (ダンス / 岐阜) Damien Girot (ドラム / マルセイユ)、吉福敦子 (ダンス / 東京)、石和田尚子 (ダンス / マルセイユ、東京)、Yasusi (ダンス / 兵庫)、水谷浩章 (ダブルベース / 長野)、JOU (ダンス / 東京)、櫻井巧見 (演劇 / 東京) 鼓代弥生 (パーカッション / 札幌)、亀川朗 (キーボード / 札幌)、渋谷千里 (演劇 / 鳥取)、村瀬謙介 (DJ / 鳥取)、森本みち子 (パーカッションほか / 鳥取)、田中悦子 (ダンス / 鳥取)、荻野ちよ (ダンス / 鳥取)、高橋智美 (民俗音楽ほか / 鳥取)、ゆーり (サックスほか / 鳥取)、きのさいこ (ダンス / 鳥取)

主催 / 鳥取夏至祭実行委員会、キノコノキカク
共催 / 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 わらべ館
後援 / 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
協力 / 鳥取市、鳥取市中心市街地活性化協議会、新鳥取駅前地区商店街振興組合、HOSPITALE プロジェクト
助成 / 令和2年度文化庁大学における文化芸術推進事業
広報協力 / totto、FM 鳥取
Special Thanks / 蔵多優美、佐々木友輔、三浦あき子



音、踊り、まちとの出会い

鳥取夏至祭

2021

鳥取夏至祭とは

鳥取に移り住んだ藤子が2017年にはじめた即興音楽とダンスのお祭り。
鳥取市内の空きビル、公園、広場などあらゆるところでパフォーマンスを行い、
まちなかで見た市民の皆さんと仲良くなったり、コロケをもらったり。
昨年はコロナウィルス感染予防の観点から、
県外にいるアーティストとのオンラインイベントを中心に開催しました。
そんなゆるやかなでびやかな鳥取でしか味わうことのできない一期一会です。
今年は「わらべ館」さんのご協力のもと、夜のわらべ館を探索し、
新たな魅力を発見していきます。

Tottori Midsummer Improvisation Festival
2021年6月19日[土] - 20日[日]

会場 **わらべ館**

主催：鳥取夏至祭実行委員会（萩野ちよ、本野祥子、田中悦子、田中哲哉、高橋賢美、村瀬謙介、森本みち子）
 共催：公益財団法人 鳥取夏祭・おもしろな祭、わらべ館（〒688-0022 鳥取県鳥取市西町3丁目202）

Photo: Yumi Karaho

鳥取夏至祭 Tottori Midsummer Improvisation Festival

PERFORMANCE

オンライン

A 前夜祭
わらべ館ナイトミュージアム
6月19日[土] 開演 19:00-
 会場 **わらべ館いべんとほーる** 定員 **50名**
 料金 **大人500円** 高校生以下及びわらべ館友の会会員無料
 ※現金のみ受け付け
 今年は童謡・唱歌とおもちゃのミュージアム「わらべ館」をジャックします。普段と異なる照明の中、みんなでわらべ館を探索してみましょう。おもちゃたちが動き出すかも。音楽、ダンス、映像、様々なパフォーマンスが展開されます。

オフライン オンライン

B 即興セッション
お鳥よせとRe:鳥よせ
6月20日[日] 開演 10:00-
 会場 **わらべ館いべんとほーる**
（鳥取人パフォーマーのパフォーマンスのみ）
YouTube上で公開
 料金 **無料** 定員 **50名**
 県内アーティストと県外アーティストの出会いの場。くじ引きにより選ばれたメンバーが鳥取のイメージを表現しながらセッションを行います。TOTTORIをお題に、世界へとつながる試み。

オフライン

C おととからだであそぼう！
即興音楽とダンスのワークショップ
6月20日[日] 開演 13:30-14:30
 会場 **わらべ館夢広場** （雨天時いべんとほーる）
 料金 **無料** 定員 **20名**
 月1回開催しているわらべ館でのワークショップの特別版。大人も子どもも一緒に、みんなで遊びます。（年長以上、規定になれる格好でください）

ARTIST

鳥取人パフォーマー

萩野ちよ(ダンス)	市橋佳奈(ピアノ)
村瀬謙介(電子音楽)	イフミール・アナミール・ア ゾースキー(とうふふーと)
高橋賢美(クラリネット・ ミュージカルソー他)	Ivan Timbrell
森本みち子(パーカッション他)	川口梨香(ギター他)
田中悦子(ダンス)	田中万智(パフォーマンス)
田中哲哉(照明)	トーマ(ダンス)
NATTY-U(ボイスパーカッション)	内田菜瑛(ダンス)
信清栄月(津軽三味線他)	谷畑楓香(企画・運営)
山下靖史(ストリートダンス)	三浦早暁(照明)
井澤大介(企画・運営)	岩崎淳志(特)
大久保雪(演劇)	中村慈(音楽)
太田克美(舞が舞い入リアン)	清友ひかる(演劇)
星田春穂(映像)	きのさいこ(ダンス)

県外、海外からの映像等での特別参加

吉福敦子(東京/ダンス)	宮北裕美(京丹後/パフォーマー)
ヒジカタハルミ(京都/パフォーマー)	石和田尚子(マルセイユ/ダンス)
ニユミコ(京都/ダンス)	室栄美希(金沢/ダンス)
大脇理智(山口/ダンス)	亀川朗(札幌/ピアノ)
イブクキョウコ(山口/ダンス)	金子奏子(岡山/トロンボーン)

加藤文子(シカゴ/ダンス) with Suzuribako

WORKSHOP

無類大にある。音と踊りの可能性を一緒に考えましょう。

オンライン

D 即興ってなんだろう？勉強会
6月13日[日] 開演 15:00-
 会場 **わらべ館いべんとほーる**
 即興についての勉強会(お話し会)を開催します。

オンライン

E 表現の幅を模索するワークショップ
毎週金曜日 開演 19:00- 会場 Zoom
 新しい表現を目指して、何ができるかを考えていきます。
※詳しい内容は実行委員会までお問い合わせください。
 興味のある方は鳥取夏至祭実行委員会までお申し込みください。

申込先 **わらべ館(0857-22-7070) or 鳥取夏至祭実行委員会(右)**

What's improvisation?

improvisation(インプロビゼーション)。楽譜や振り付といった決まり事に頼らず、その場で感じることをもとに作り出していく手法。音楽、ダンス、演劇、美術それぞれに発展しています。相手の反応や場所により多様に変化するため、まさしく一期一会。それぞれの感覚、直感や身体といった個性を生かし、かつ「今、ここで、出会うための」試みです。この小さな出会いが糧となり、いつかの作品へと成長していきます。さ、踊りましょ。奏でましょ。

ACCESS

鳥取・鳥取とおもしろミュージアム

わらべ館 (鳥取県鳥取市西町3丁目202)

- ・JR鳥取駅から車で約5分・駐車場有
- ・100円バス「くる製」
- ・隣コースで約5分

ナイトミュージアムにお越しの方は
屋外駐車場をご利用ください。

CONTACT

問合せ・申込先 **geshisai2021@gmail.com**

鳥取夏至祭実行委員会(鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101)
 鳥取大学地域学部芸術文化センター木野研究室(舞踊・身体表現)内

詳しくはコチラ <https://geshisai2021.jimdosite.com/>

鳥取夏至祭 2021

2021年 6月19日(土) — 20日(日)

わらべ館

前夜祭 わらべ館ナイトミュージアム

ツアーパフォーマンス（周遊型公演） 6月19日(土) 19:00～

1階

エントランスホール（映像）／ニユミコ、イフクキョウコ・大脇理智・大脇凡、石和田尚子
民家／ジャック石田・福本弘文
教室／大久保藍、内田栞璃
大正時代のピアノ（童謡コーナー）／市橋佳奈、田中悦子
受付／高橋智美

2階

あそぼう広場／ゆかい三姉弟
おもちゃコーナー（おもちゃ研究所）／荻野ちよ、森本みち子
照明コーナー／イツキ
ライブラリー／岩崎淳志
ライブラリー（映像）／宝栄美希、吉福敦子、Ivan Timbrell
いべんとほーる／NATTY-U
いべんとほーる（映像）／宮北裕美、イフクキョウコ・大脇理智・大脇凡、ニユミコ、ヒジカタハルミ、亀川朗、石和田尚子、加藤文子+Suzuribako、繋ぎ商い人 リアン

3階

ゆうやけ広場／信清栄月、村瀬謙介、せかいのまんなか まさ
窓の外／川崎美保

地下1階／Yasusi、イワミノフ・アナミール・アゾースキー、松岡香織

自由人／繋ぎ商い人 リアン、中村慈、ヒジカタハルミ、岸本みゆう、きのさいこ
誘導人／田村里架、荻野仁美、白方欣江、長濱妥紀、佐伯恵里、榎橋南美、トーマ、川畑枝美、田中万智、清友ひかる、高橋智美
照明人／田中哲哉、東緋乃、霜里界汰、三浦早喜、伊藤礼恩
映像人／里田晴穂、武田泰成、井澤大介、田中良子
協力／わらべ館の皆様、アトスペースからふる（足下灯）、佐々木友輔

からくり時計前／全員

即興セッション お鳥よせと Re：鳥よせ 6月20日(日) 10:00～12:00

オフライン：わらべ館いべんとほーる／オービタルリンク形式による即興セッション
オンライン：県外アーティストは Zoom で参加し、オービタルリンク形式による即興セッション

おととからだであそぼう～即興音楽とダンスのワークショップ 6月20日(日) 13:30～14:30

わらべ夢ひろば／県内参加者全員

主催／鳥取夏至祭 2021 実行委員会

荻野ちよ、木野彩子、田中哲哉、高橋智美、村瀬謙介、森本みち子
共催／公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 わらべ館
映像、配信／里田晴穂、武田泰成（鳥取大学地域学部佐々木研究室）、井澤大介
写真／田中良子
チラシデザイン／加藤咲（うかぶ LLC）、三宅航太郎（うかぶ LLC）
協力／アトスペースからふる、鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、佐々木友輔、totto

／以降は、参加者名など



音、踊り、まちとの出会い

2022

鳥取夏至祭

Tottori Midsummer Improvisation Festival

2022年6月18日[土]—19日[日]

会場 久松公園・わらべ館・わらべ夢ひろば他

主催：鳥取夏至祭2022実行委員会
荻野ちよ、田中悦子、森本みち子、高橋智美、村瀬謙介、信清栄月、井澤大介、岩崎淳志、中村友紀、加藤由希、伊藤礼恩、高見咲也子、イフクキョウコ、きのさいこ

共催：公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館（〒890-0022 鳥取市西町2丁目202）
協力：ほうまのジエ建築協会の「ジエでアードアクションサポート事業 2022」、トラムワークルからふるでん、鳥取市立総合スポーツ施設報告、仁成館、鳥取市文化財館、鳥取市文化芸術課
監修：鳥取大学令和4年度地域連携イノベーション創出に向けた実践的連携研究推進プログラム（応用費用）： 演出せ！鳥取大学地域学部附属芸術文化センター本館研究室内鳥取夏至祭実行委員会
Photo: Ryoko Enosaka

鳥取のまちなかで音楽とダンスに出会おう2日間。

わたしたちは踊りたいから踊り、奏でたいから奏でる。音楽もダンスも美術術も。今、ここで作り出されるその瞬間を楽しむために、プロもアマチュアもジャンルも垣根を越えて、ただ遊ぶところから、あらゆる創作活動は生まれるのだと思います。今年のテーマは鳥取のまちの歴史を見つめてきた久松山。もしかしたら通りすがりに出会うかも。一緒に巻き込まれてみてください。

SHOWING

A 鳥取城跡即興ツアー（周遊型パフォーマンス）

6月18日[土] 開始 10:30 (受付開始10:15頃) 終了 14:00頃

集合場所 久松公園下観光案内所の小屋前 料金 無料 定員 30名程度 持ち物 昼食
(雨天時は鳥取市総合教育センター体育館)

久松山は鳥取城跡ののこる鳥取市内を見渡すことができる山です。櫓跡などをステージに見立てて小グループによるくじき即興パフォーマンスを開催します。

午後には希望者のみですが久松山頂上へも登ります。熊や猪に遭遇しないよう、鳥取夏至祭流にリコーダーや鈴などで演奏(?)しながら、動ける服装、靴などできてください。頂上から眺める鳥取は絶景です。

<雨天時>鳥取市総合教育センター体育館にて時間を短縮して10:30～12:00頃の間催となります。開催場所は当日朝にツイッター、HPにて告知します。またお申し込みいただいた方にはメールにてお知らせします。

B 夜のわらべ館

6月18日[土] 開始 19:00 (開場 18:40) 終了 20:00頃

集合場所 わらべ館エントランスホール 参加費 大人300円 高校生以下、わらべ館友の会会員 無料 定員 50名程度

持ち物 懐中電灯または携帯電話

閉館後の夜のわらべ館をみんなで探検してみましょう。昨年3日で完売となった人気企画が帰ってきます。県内外から集まったパフォーマーがわらべ館ならではのパフォーマンスを展開します。観客はグループごとに、懐中電灯を持って宝探しのように探検する特別企画です。小学生以下のお子さんは保護者の方の引率が必要です。



C おととからだであそぼう! 即興音楽とダンスのワークショップ

6月19日[日] 開始 11:00 終了 12:00

集合場所 わらべ夢ひろば 料金 無料 定員 30名程度
(雨天時はいべんとほーる)

月1回開催しているわらべ館ワークショップ「おととからだであそぼう」の特別版。大人も子どもも一緒になって、みんなで遊びます。(年長以上、裸足になれる格好でください)

昨年の様子はこちらから <https://geshisal2021.jimdosite.com>



PRE EVENT

D おととからだであそぼう!

即興音楽とダンスのワークショップ

ゆるゆるのびのびからだを動かしてあそぼう! 音楽とダンスの垣根を超えるワークショップ。
ファシリテーター: 萩野ちよ・田中悦子・森本みち子・きのさいこ

日程 5月22日[日] 13:30～14:30 (開場 13:15)

6月 5日[日] 11:00～12:00 (開場 10:45)

7月24日[日] 11:00～12:00 (開場 10:45)

場所 わらべ夢ひろば (雨天時はわらべ館いべんとほーる)

料金 無料 定員 20名(年長児以上)

E わらべ館について知ろう!

専門員さんと一緒にわらべ館を回りながら、おもちゃや唱歌の歴史について学びます。

日程 6月5日[日] 13:30～14:30頃

集合場所 わらべ館エントランスホール

入館料 大人500円

高校生以下、わらべ館友の会会員 無料

定員 15名程度



A 久松公園 (旗庁駐車場が利用できます)
鳥取市幸町2丁目
JR鳥取駅から車で5分、100円バス「くる梨」緑コースで約5分「県立博物館前」下車。

<雨天時>
鳥取市総合教育センター体育館 (駐車場あり)
鳥取市幸町150
JR鳥取駅から車で5分、100円バス「くる梨」赤コース「寺町」下車もしくは「本町一丁目」バス停下車。

B わらべ館 (駐車場あり/夜は屋外駐車場をご利用ください)
鳥取市西町13丁目202
E JR鳥取駅から車で5分、100円バス「くる梨」緑コースで約5分「わらべ館前」下車、徒歩20分。

鳥取夏至祭は2017年から鳥取市内の様々な場所で展開してきました。鳥取のまちなかの面白いところ、素敵なお店を発見していく予定です。多くの皆さんに変えられて嬉しいです。

2020 コロナ対策としてオンライン開催、夜のわらべ館
2021 コロナ対策としてオンライン、オンライン開催、夜中からわらべ館

申込は
こちら!

A 鳥取夏至祭実行委員会 (予約フォーム)

コロナ対策、雨天時の会場連絡等のため、フォームよりご予約ください。 <https://forms.gle/y1YoAkZp7c95G4378>



B ~ E わらべ館 (0857-22-7070)

開催日の1ヶ月前より受付開始となります
※ 日のみ5月23日～

鳥取夏至祭 Tottori Midsummer Improvisation Festival

鳥取に移り住んだ踊子が2017年にはじめた即興音楽とダンスのお祭り。鳥取市内の空きビル、公園、広場などあらゆるところでパフォーマンスを行い、鳥取のまちの魅力を県外へと発信してきました。これまで参加して下さったアーティストは100名を超えます。昨年、一昨年はコロナウイルス感染予防の観点から、県外にいるアーティストは招聘せず、オンラインイベントを中心として開催しました。今年は2年ぶりに県外アーティストも参加。昨年好評を受けた夜のわらべ館企画を再度練り直し、新たな魅力を発見していきます。

即興とは

Improvisation(インプロビゼーション)。素直や振付といった決まり事に頼らず、その場で感じることをもとに作り出していく手法。音楽、ダンス、演劇、美術それぞれに発展しており、創作の原点でもあります。相手の反応や場所により多様に変化するため、まさしく一期一会。それぞれの感覚、直感や身体といった個性を生かし、そこに鳥取の空間がどう影響を与えるのか。「今、ここで、出会うための」試みをジャンルレスに行います。

鳥取のアート情報サイト「totto」による鳥取夏至祭2021レポート

https://totto-ri.net/report_tottorigeshisai2021_1/ ・ https://totto-ri.net/report_tottorigeshisai2021_2/



ARTIST

県外からのアーティスト

- ・ 大脇家(大脇理智・イフクキョウコ・凡/ダンス)山口
- ・ Yasusi(ストリートダンス)兵庫
- ・ 亀川朗(ピアノ)北海道
- ・ クロミツ(ヴァイオリン)岡山
- ・ 赤田晃一(サクソ)岡山
- ・ 赤田美由紀(鍵盤)岡山
- ・ 吉福敦子(ダンス)東京
- ・ 辻たくや(舞踏)東京
- ・ マイアミ(詩、弾き語り)京都
- ・ ヒジカタハルミ(パフォーマンス)京都
- ・ 向井まり・しょうま(パフォーマンス)京都
- ・ bozzo(写真)兵庫
- ・ 赤丸急上昇(赤松美智代・丸山陽子/ダンス)愛媛

- ・ 上本竜平(ダンス)東京
- ・ 鈴木英理子・咲月・美月(ダンス)京都
- ・ ニイユミコ(ダンス)京都
- ・ 富士栄秀也(ヴォイスパフォーマンス)東京

鳥取のアーティスト

- ・ 荻野ちよ(ダンス)
- ・ 里田晴徳(映像)
- ・ トーマ(パフォーマンス)
- ・ 高橋智美(民族楽器・ミュージカルソー)
- ・ 村瀬謙介(電子音楽)
- ・ 信清栄月(津軽三味線)
- ・ カエデイツキ(朗読、音楽)
- ・ 森本みち子(パフォーマンス)

- ・ 稲垣良哲(ヨーデル)
- ・ 中村友紀(演劇)
- ・ 伊藤礼恩(朗読、ダンス)
- ・ 出井千穂(ヨーデル、ダンス)
- ・ ヤオシャンドン(アコーディオン)
- ・ 田中悦子(ダンス)
- ・ 岩崎淳志(詩、リコーダー)
- ・ アゾースキー(とうふるーと奏者)
- ・ 清友ひかる(パフォーマンス)
- ・ きのさいこ(ダンス)

特別参加

- ・ ☆ふるふいすたあ☆+SUNNYフルーツ
(アイドルライブユニット/
夜のわらべ館で即興にチャレンジ)

CONTACT

問合せ geshisai2022@gmail.com

詳しくはコチラ

鳥取夏至祭実行委員会(鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101)
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター木野研究室内
鳥取夏至祭twitter @tottorigeshisai

<https://geshisai.jimdosite.com>



コロナウイルス感染対策を行っています

- マスクの着用をお願いします
- 手洗いの消毒をお願いします
- 発熱等で体調不良の方は参加いただけません
- 参加費お支払いの記入をお願いします

鳥取夏至祭 2022

／以降は、参加者名など

2022年 6月18日(土) — 19日(日)

久松公園、わらべ館

鳥取城跡即興ツアー(周遊型パフォーマンス) 6月18日(土) 10:30 ~ 14:00

仁風閣庭(芝生)、仁風閣庭(庭園)、太鼓御門跡、天球丸巻石垣、登山口、三階櫓跡 / オービタルリンク形式による即興セッション

夜のわらべ館 6月18日(土) 19:00 ~ 20:00

- 1階
教室 / 吉福敦子
歌の小道 / 森本みち子、カエデ
民家前 / 信清栄月、鈴木家(英理子、咲月、美月)、内田菜瑠
童謡の部屋 / 荻野ちよ、金子泰子(オンラインセッション)
- 2階
あそぼう広場 / 大脇家(大脇理智、イフクキョウコ、凡)、田中悦子、イツキ、村瀬謙介、赤田晃一
ライブラリー / 辻たくや、マイアミ、岩崎淳志
- 3階 / SUNNYフルーツ・☆ふるふいすたあ☆(特別出演)、赤丸急上昇(赤松美智代+丸山陽子)、アゾースキー、ヤオ・シャンドン、Yasusi、清友ひかる、松岡香織

地下1階 駐車場 / ニイユミコ、クロミツ、上本竜平、出井千穂、富士栄秀也、伊藤礼恩

合図係(1階受付から館内放送) / 稲垣良哲
回遊している人 / チーム三匹(ヒジカタハルミ、向井まり・しょうま)、bozzo
全体を回る人 / nashinoki、里田晴徳、井澤大介
誘導係 / 白方欣江、清水奨、梶川真奈、高見咲也子、黄路、大久保有希乃(敬愛高校高校生ボランティア)、西尾早織(敬愛高校高校生ボランティア)
運営 / 藤森このみ、高橋智美、中村友紀、きのさいこ、加藤由布
照明 / 伊藤礼恩、加藤由布

からくり時計前 / 全員

おととからだであそぼう~即興音楽とダンスのワークショップ 6月19日(日) 11:00 ~ 12:00

わらべ館夢ひろば / 全員

主催 / 鳥取夏至祭 2022 実行委員会
荻野ちよ、田中悦子、森本みち子、高橋智美、村瀬謙介、信清栄月、井澤大介、岩崎淳志、中村友紀、加藤由布、伊藤礼恩、イフクキョウコ、きのさいこ
共催 / 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 わらべ館
協力 / ほうきのジビエ推進協議会「ジビエでフードアクションサポート事業 2022」、ドラムサークルがらがら☆どん、鳥取市公園・スポーツ施設協会、仁風閣、鳥取市文化財課、鳥取市文化交流課
ボランティア体験 / 鳥取敬愛高等学校
まかない用ジビエ料理開発 / Tottori カルマ、山猫軒
助成 / 鳥取大学令和4年度地域イノベーション創出に向けた実践的教育研究推進プログラム
宣伝美術、チラシ・ポスターデザイン / 三宅航太郎(Miyake and associates)、加藤咲(Miyake and associates)
広報写真・記録 / 田中良子
映像記録 / 里田晴徳



音、踊り、まちとの出会い

2023 鳥取夏至祭

Tottori Midsummer Improvisation Festival

2023.6.25 sun @ チュウブ鳥取砂丘こどもの国



■主催：鳥取夏至祭2023 実行委員会
 (イフクキョウコ、荻野ちよ、きのさいこ、高橋智美、田中悦子、田中哲哉、辻たくや、伊村友紀、ニイユミコ、信清栄月、森本みち子、吉福敦子)
 ■共催：チュウブ鳥取砂丘こどもの国 ■協力：ドラムサークルがらがら★どん
 ■助成：鳥取県令和新时代創造県民運動推進補助金(スタートアップ型)
 ■問合せ：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター舞踊研究室内 鳥取夏至祭実行委員会 geshisai2023@gmail.com

Photo: RyokoTanaka

鳥取夏至祭 Tottori Midsummer Improvisation Festival

鳥取に移り住んだ踊子が2017年にはじめた **即興音楽とダンスのお祭り**。鳥取市内の空きビル、公園、広場などあらゆるところでパフォーマンスを行い、**鳥取のまちの魅力を県外へと発信**してきました。これまで参加して下さったアーティストは100名を超えます。鳥取市民は大人から子供まで知らない人はいない、50周年を迎える**鳥取砂丘こどもの国**を舞台に、**鳥取の魅力を探求**します。

6月25日(日)13時から こどもの国探検ツアー (周遊型パフォーマンス)

こどもの国のさまざまな場所で即興パフォーマンスを展開します。観客は周辺を移動しながら見て回ります。普段と違うこどもの国を満喫しよう！最後はミニワークショップで即興体験もしちゃいます。
 (雨天時はこどもの国内の多目的ホールなどを使用して開催します)

■会場：チュウブ鳥取砂丘こどもの国(鳥取市浜坂 1157-1) <https://kodomonokuni.tottori.jp>

■集合場所：(入場ゲートを通過後) こども広場

■料金：無料(ただしこどもの国入館料【大人(高校生以上)500円、中学生200円、小学生以下無料】は必要です)

■定員：40名程度

■お申し込み：予約フォームよりご予約ください
<https://forms.gle/TCY9ZQ78BQbpbvm8A>

即興とは

improvisation(インプロビゼーション)。南無や振付といった決まり事に縛らず、その場で感じることをもとに作り出していく手法。音楽、ダンス、演劇、美術それぞれに発展しています。相手の反応や場所により多様に変化するため、まさしく一期一会。それぞれの感覚、直感や身体といった個性を生かし、かつ「今、ここで、出会うための」試みをジャンルレスに行います。



予約フォーム

関連企画

おととからだてあそぼう！ 即興音楽とダンスのワークショップ

ゆるゆるのびのびからだを動かしてあそぼう！
音楽とダンスの垣根を超えるワークショップ。

5月28日(日)、7月16日(日)
11時~12時

■場所：わらべあそびひろば(雨天時はわらべ館内)

■参加費：無料 ■定員：30名

■お申し込み：わらべ館 0857-22-7070 または WEB
 (各回1ヶ月前~申込開始)

■一階にあそぶ人：荻野ちよ
 田中悦子・森本みち子
 きのさいこ



WEB予約

参加アーティスト

県外からのアーティスト

赤田晃一(サクセスほか宮崎県、打楽器/岡山)、大脇家(大脇理智、イフクキョウコ、大脇凡)(ダンスほか/山口)、クロミツ(ヴァイオリン/岡山)、たまがわとしお(ちんどん屋/兵庫)、辻たくや(舞踏/東京)、トーマ(踊り/東京)、ニイユミコ(ダンス/京都)、ヒジカタハルミ(パフォーマンス/京都)、富士栄秀也(nakedvoice/東京)、bozzo(写真+動き/兵庫)、三浦あさ子(あかりを扱うこと/大阪)、moon sisters(鈴村咲月、鈴村美月)(ダンス/滋賀)、Yasusi(ブレイクダンス/兵庫)、吉福敦子(ダンス/東京) ほか

鳥取のアーティスト

イワミノフ・アナミール・アゾースキー(とらふるーと)、荻野ちよ(ダンス)、カエデトイツキ(森本楓、森本晋生)(光り効果)、岸本みゆう(オカリナ)、きのさいこ(踊り)、櫻井重久(ピアノ)、nashinoki(朗読)、田中悦子(ダンス)、田中哲哉(効果)、信清栄月(津軽三味線)、中村友紀(演劇)、Puppis(風鈴)、machi(演劇)、森本みち子(打楽器)、ヤオジャオドン(アコーディオン) ほか



昨年の様子はこちらから：
 鳥取のアート情報サイト tutto による
 レポート
https://totto-ri.net/report_tottorigeshisai2022_1/

鳥取夏至祭2023 実行委員会
geshisai2023@gmail.com
<https://tottori-geshisai.jimdosite.com>
 <https://twitter.com/tottorigeshisai>



HP

鳥取夏至祭 2023

2023年6月25日(日)
 チュウブ鳥取砂丘こどもの国

前日リハーサル 6月24日(土)
 チュウブ鳥取砂丘こどもの国 / オービタルリンク形式によるセッションおよびルート決定

作戦会議 6月24日(土)
 鳥取大学地域学部附属芸術文化センターアートプラザ

こどもの国探検ツアー（周遊型パフォーマンス） 6月25日(日) 13:00～

入り口誘導係 / ヒジカタハルミ、赤田晃一、ニユミコ
 受付係 / 吉福敦子、森本みち子、中村友紀、辻たくや、水野陽菜
 オープニング @ こども広場
 前説 / 吉福敦子
 パフォーマンス / 全員
 照明 / 三浦あさ子、田中哲哉
 花だん / 荻野ちよ、ヒジカタハルミ、トーマ、大脇理智、大脇凡、李林海、ゲバラ、富士栄秀也
 途中の広い円のお皿 / Yasusi
 松の木パフォーマンス / 田中悦子、吉福敦子
 アスレチック / イフクキョウコ、クロミツ、森本みち子、田中悦子、ニユミコ
 林 / Puppis、吉福敦子、辻たくや、bozzo、トーマ、菊川朝子・泰然、ヤオ・シャオドン
 三角道路 / Yasusi、岸本みゆう、アゾースキー、nashinoki
 わんぱく広場 / 信清栄月、中村友紀、ニユミコ、カエデトイツキ、赤田晃一
 球根畑 / きょん、井上柊、moon sisters、machi、つん、櫻井重久
 全体誘導係 / たまがわとしお、きのさいこ、井澤大介

主催 / 鳥取夏至祭 2023 実行委員会
 イフクキョウコ、井澤大介、荻野ちよ、きのさいこ、高橋智美、田中悦子、田中哲哉、辻たくや、中村友紀、ニユミコ、信清栄月、森本みち子、吉福敦子
 共催 / チュウブ鳥取砂丘こどもの国
 協力 / ドラムサークルがらがら☆どん
 助成 / 令和5年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助金（スタートアップ型）
 宣伝美術 / 吉福敦子
 ホームページ制作 / イフクキョウコ
 広報写真・記録 / 田中良子
 映像記録 / 里田晴徳
 受付ボランティア / 水野陽菜
 ケータリング協力 / せかいのまんなか まさ、Tottori カルマ
 広報協力 / FM 鳥取、totto

／以降は、参加者名など



おととからだであそぼう ～即興音楽とダンスのワークショップ～

わらべ館いべんとほーる、わらべ夢ひろば、エントランスホールほかにて開催（変更については p53 参照）

いっしょに遊ぶ人（ファシリテーター） / 荻野ちよ、きのさいこ、田中悦子、高橋智美、森本みち子（2019～）、中村友紀（2022～）
 かっこ内は 講座ゲスト（講師、パネリスト）として参加

2017年度

6月25日
 12月9日

2018年度

○平成30年度文化庁大学における文化芸術推進事業 ○ファシリテーター養成講座
 5月27日(池田千夏/ピアノ) 6月24日 夏至祭スペシャル
 7月22日(やぶくみこ/ガムラン) 9月30日(金井隆之/声楽)
 11月18日(やぶくみこ) 1月26日(金子泰子/トロンボーン)
 3月10日(金井隆之)

2019年度

○令和2年度文化庁大学における文化芸術推進事業 ○ファシリテーター養成講座
 5月25日(山下靖史/ダンス) 6月23日 夏至祭スペシャル
 7月6日(池田千夏) 9月29日
 10月6日(金井隆之) 11月16日(古川友紀/ダンス)
 12月7日(棚川寛子/作曲) 1月25日(金子泰子)
 ※2月29日、3月14日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

2020年度

○令和3年度文化庁大学における文化芸術推進事業 ○ファシリテーター養成講座
 6月21日 夏至祭 7月19日
 9月6日 10月18日(三浦あさ子/照明)
 11月8日 11月28日(新井英夫/体奏家)
 9月20日、21日 即興音楽とダンスのための照明研究会(三浦あさ子) 鳥取大学アートプラザ、こぶし館
 11月27日 野口体操について知ろう(新井英夫) 鳥取大学アートプラザ

2021年度

○鳥取大学地域連携授業
 4月25日 5月16日
 6月13日 6月20日 夏至祭スペシャル
 7月11日 9月12日
 10月3日 11月7日
 12月12日
 11月21日 とりアート中部地区事業 倉吉未来中心

2022年度

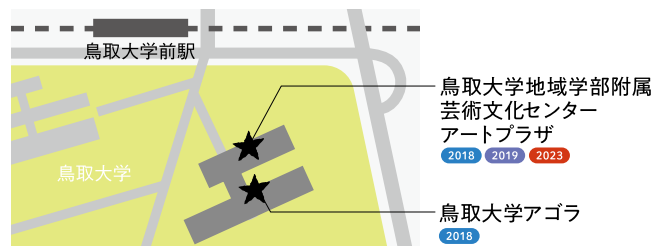
○鳥取大学地域連携授業
 4月24日 5月22日
 6月5日 6月19日 夏至祭スペシャル
 7月24日 9月4日
 10月16日 12月18日
 11月20日 とりアート中部地区事業 倉吉未来中心
 11月27日 とりアート東部地区事業 とりぎん文化会館
 2月3日、10日、23日 新井英夫さんと学ぶオンライン野口体操and体奏講座(新井英夫、板坂記代子、栗田康弘)

2023年度

○鳥取大学地域連携授業
 4月9日 5月28日
 7月16日 9月24日
 10月1日 12月17日
 1月24日、2月23日 新井英夫さんと学ぶオンライン野口体操and体奏講座(新井英夫、板坂記代子、西川正)

鳥取夏至祭を開催した場所…★

実施年 **2017** **2018** **2019** **2020** **2021** **2022** **2023**



★仁風閣宝隆院庭園



★袋川土手



★旧横田医院 (HOSPITALE)



★太平公園(三角公園)



★けやき広場



★鳥取大学地域学部附属 芸術文化センター アートプラザ



★久松公園



★パレットとつとりの隣の空きビル(2階)



★アフターアワーズ



★旧ヤマネデンキ



★風紋広場



★鳥取砂丘こどもの国



photo：田中良子

鳥取夏至祭 Project Document 2017-2023

編集 イフクキョウコ、木野彩子、中村友紀、nashinoki、吉福敦子

写真 田中良子 表紙.p1. p2-3. p6-7. p8. p9. p10. p11. p27. p28-29. p30. p44-45. p46. p55下. p56-57. p64. p65. 裏表紙裏bozzo p55上. p62-63

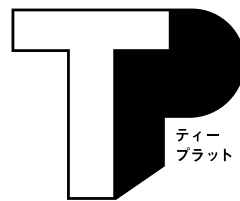
デザイン 中村恭子(シンキョ)

印刷 株式会社グラフィック

制作 鳥取夏至祭実行委員会

発行 一般社団法人鳥取クリエイティブプラットフォーム

発行日 2024年12月1日



鳥取夏至祭 HP
<https://tottori-geshisai.jimdosite.com>



鳥取夏至祭レポート (ウェブマガジン tutto)

2018



2020



2021 no.1



2021 no.2



2022



2023



2023年終了後の様子。ありがとうございました。